

科目	計量モデル分析論	担当	山田 正人	履修学年	1年																																				
時間数	90分×時限×32回(週2回)	履修区分	選択	単位数	4単位																																				
<p><b>【授業目標・到達目標】</b>  「生産現場において、不良品を出さないようにするには」「販売に際して、在庫を適正に保つには」「景気判断における、在庫指数と生産指数の関係」「30万人以上の都市は特定市、70万人以上の都市は政令指定市だけ、東海市と似ている都市は？」などの事例をもとに、統計・確率を使うことを簡単に計量できるアイデアを、しかし大学レベルで示す。  併せてMicrosoft社のOfficeに含まれている”EXCEL”の使い方を、関数レベルで使えることを目標とする。  数学ではなく、現場で使える、文系の統計・確率に関する基礎を習得することは必至の目標である。</p>																																									
<p><b>【履修注意】</b>  教職「情報」志望学生は、必修である。1年生を想定して講義をするが、2年生はもちろん3、4年生も受講できる。  授業中にはノートをとりなさい。(テストの折、自筆のみのノートについては持ち込みを認めている)</p>																																									
<p><b>【評価方法】</b>  テストは、100点満点のうち、10点は受講した感想である。  授業時の平常点は、最大10点相当を充てて加点している。  講師の持ち点も、最大10点相当加点することがある。  テストは、少なくとも2回ある。期末テストの点数をもとに、中間試験の点数を考慮して決める。</p>																																									
<p><b>【試験について】</b>  持ち込み物件：自筆のみのノート  再テスト対象者：4年生で、40点以上のものについては対象者として考えている。</p>																																									
<p><b>【予習・復習】</b>  授業中にノートをとりなさい。(自筆のノートを作ることが復習にもなる)</p>																																									
<p><b>【教科書】</b>  スライド(PPT)をWBTで配布する。</p>																																									
<p><b>【参考書】</b>  配布印刷物が時折ある。</p>																																									
<p><b>【その他の注意事項】</b></p>																																									
<p><b>【授業計画・内容】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-3</td> <td>「販売に際して、在庫を適正に保つには1」</td> <td>1. 売る品物はどれだけ用意すればよいの(在庫分析)2. 在庫分析の中のABC分析(パレートの法則:コンビニ)</td> </tr> <tr> <td>4-10</td> <td>「30万人以上の都市は特定市、70万人以上の都市は政令指定市だけ、東海市と似ている都市は？」</td> <td>4. 東海市の夜間人口と昼間人口は5. 東海市と似ている都市は人口プラスマイナス5%と定義する7. ついでに、30万以上の都市は？100万以上の都市は？9. 愛知県で人口の伸びている都市を探すのに、クロス集計表をつくる10. クロス集計表をもとに、複合グラフをつくる</td> </tr> <tr> <td>11-14</td> <td>”EXCEL”でなにができるかな</td> <td>11. ”EXCEL”で表をつくる12. ”EXCEL”でグラフをつくる13. ”EXCEL”で計算をする14. ”EXCEL”で関数を使った計算をする</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>復習と後半の紹介</td> <td>15. 「販売に際して、在庫を適正に保つには1」と「30万人以上の都市は特定市、70万人以上の都市は政令指定市だけ、東海市と似ている都市は？」には「QC」が使われている</td> </tr> <tr> <td>16</td> <td>中間まとめ</td> <td>16. 前半のまとめ</td> </tr> <tr> <td>17-24</td> <td>「生産現場において、不良品を出さないようにするには」</td> <td>17. QCとは生産管理のことであって、生産管理(QUALITY CIRCLE)サークル活動を行う企業がたくさんあった18. 生産管理とは、製品の質を一定に作り続けることである20. QCには7つ道具がある23. それらも含めてもう一度7つの道具を紹介する24. QCはその後も進化していて、新QCの7つ道具というものもある</td> </tr> <tr> <td>25-26</td> <td>「景気判断における、在庫指数と生産指数の関係」</td> <td>25. 4半期(3か月)ごとのデータと基調済み(12か月の移動平均データ)26. 在庫指数と生産指数と出荷指数のデータは、国が調査をして提供してくれる</td> </tr> <tr> <td>27-28</td> <td>たった一つの標準正規分布</td> <td>27. たった一つの標準正規分布の性質だけ知っていればよいわけ28. たった一つの標準正規分布に振り回される成績処理、Z値、偏差値</td> </tr> <tr> <td>29-30</td> <td>「販売に際して、在庫を適正に保つには2」</td> <td>29. 再び在庫問題30. 答の書き方</td> </tr> <tr> <td>31</td> <td>復習</td> <td>31. 1時限で復習しきれぬかどうかわからんけどやってみる</td> </tr> <tr> <td>32</td> <td>期末テスト</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						回数	項目	内容	1-3	「販売に際して、在庫を適正に保つには1」	1. 売る品物はどれだけ用意すればよいの(在庫分析)2. 在庫分析の中のABC分析(パレートの法則:コンビニ)	4-10	「30万人以上の都市は特定市、70万人以上の都市は政令指定市だけ、東海市と似ている都市は？」	4. 東海市の夜間人口と昼間人口は5. 東海市と似ている都市は人口プラスマイナス5%と定義する7. ついでに、30万以上の都市は？100万以上の都市は？9. 愛知県で人口の伸びている都市を探すのに、クロス集計表をつくる10. クロス集計表をもとに、複合グラフをつくる	11-14	”EXCEL”でなにができるかな	11. ”EXCEL”で表をつくる12. ”EXCEL”でグラフをつくる13. ”EXCEL”で計算をする14. ”EXCEL”で関数を使った計算をする	15	復習と後半の紹介	15. 「販売に際して、在庫を適正に保つには1」と「30万人以上の都市は特定市、70万人以上の都市は政令指定市だけ、東海市と似ている都市は？」には「QC」が使われている	16	中間まとめ	16. 前半のまとめ	17-24	「生産現場において、不良品を出さないようにするには」	17. QCとは生産管理のことであって、生産管理(QUALITY CIRCLE)サークル活動を行う企業がたくさんあった18. 生産管理とは、製品の質を一定に作り続けることである20. QCには7つ道具がある23. それらも含めてもう一度7つの道具を紹介する24. QCはその後も進化していて、新QCの7つ道具というものもある	25-26	「景気判断における、在庫指数と生産指数の関係」	25. 4半期(3か月)ごとのデータと基調済み(12か月の移動平均データ)26. 在庫指数と生産指数と出荷指数のデータは、国が調査をして提供してくれる	27-28	たった一つの標準正規分布	27. たった一つの標準正規分布の性質だけ知っていればよいわけ28. たった一つの標準正規分布に振り回される成績処理、Z値、偏差値	29-30	「販売に際して、在庫を適正に保つには2」	29. 再び在庫問題30. 答の書き方	31	復習	31. 1時限で復習しきれぬかどうかわからんけどやってみる	32	期末テスト	
回数	項目	内容																																							
1-3	「販売に際して、在庫を適正に保つには1」	1. 売る品物はどれだけ用意すればよいの(在庫分析)2. 在庫分析の中のABC分析(パレートの法則:コンビニ)																																							
4-10	「30万人以上の都市は特定市、70万人以上の都市は政令指定市だけ、東海市と似ている都市は？」	4. 東海市の夜間人口と昼間人口は5. 東海市と似ている都市は人口プラスマイナス5%と定義する7. ついでに、30万以上の都市は？100万以上の都市は？9. 愛知県で人口の伸びている都市を探すのに、クロス集計表をつくる10. クロス集計表をもとに、複合グラフをつくる																																							
11-14	”EXCEL”でなにができるかな	11. ”EXCEL”で表をつくる12. ”EXCEL”でグラフをつくる13. ”EXCEL”で計算をする14. ”EXCEL”で関数を使った計算をする																																							
15	復習と後半の紹介	15. 「販売に際して、在庫を適正に保つには1」と「30万人以上の都市は特定市、70万人以上の都市は政令指定市だけ、東海市と似ている都市は？」には「QC」が使われている																																							
16	中間まとめ	16. 前半のまとめ																																							
17-24	「生産現場において、不良品を出さないようにするには」	17. QCとは生産管理のことであって、生産管理(QUALITY CIRCLE)サークル活動を行う企業がたくさんあった18. 生産管理とは、製品の質を一定に作り続けることである20. QCには7つ道具がある23. それらも含めてもう一度7つの道具を紹介する24. QCはその後も進化していて、新QCの7つ道具というものもある																																							
25-26	「景気判断における、在庫指数と生産指数の関係」	25. 4半期(3か月)ごとのデータと基調済み(12か月の移動平均データ)26. 在庫指数と生産指数と出荷指数のデータは、国が調査をして提供してくれる																																							
27-28	たった一つの標準正規分布	27. たった一つの標準正規分布の性質だけ知っていればよいわけ28. たった一つの標準正規分布に振り回される成績処理、Z値、偏差値																																							
29-30	「販売に際して、在庫を適正に保つには2」	29. 再び在庫問題30. 答の書き方																																							
31	復習	31. 1時限で復習しきれぬかどうかわからんけどやってみる																																							
32	期末テスト																																								